

令和4年度

事業計画書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業計画

1 事業活動方針

障がいのある方の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がいのある方の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、東京2020パラリンピックの開催により高まったスポーツへの関心を、参加することへと繋げていくため、これまで以上に障がいのある方が日常的にスポーツに親しむことができる文化を創出するとともに、障がいのある方とない方が一緒にスポーツを楽しむことができる環境を推進するための取組を実施する。

2 事業概要

当協会は、定款第4条の規定に基づき、次の事業を行う。

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励 22,884千円

障がいのある方が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するとともに、全国障害者スポーツ大会への福島県選手団の派遣を行い、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図る。

- ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業
- ② 福島県障がい者スポーツ大会開催事業
- ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上 1,111千円

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導員及びボランティアの養成が必要不可欠である。地域で活動する指導員、専門競技において活動する指導員等、各指導員が得意とする指導環境の整備を行うとともに、障がいのある方が安心して参加し、それぞれの目的に沿った指導が受けられるように配慮する。

また、指導技術を高めるほかに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図る。

- ① 初級指導員養成講習会開催事業
- ② 障がい者スポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援 1,350千円

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備する。

- ① 選手指導者組織育成支援事業
- ② 団体競技強化支援事業

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上 8,508千円

スポーツをきっかけとして、障がいのある方の積極的な活動を通じた社会参加と自立を促進するため、選手の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、次世代を担う選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図る。

- ① 各種助成事業
 - ア 国際大会等出場助成
 - イ 全国スポーツ競技会等出場助成
- ② 運動導入教室開催事業
- ③ 地域スポーツ教室等開催事業
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業
- ⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業
- ⑦ 【新】ふくしまシャイニングスタープロジェクト

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報 15,222千円

スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒に障がい者スポーツに親しみ、理解を深めてもらうことが重要であるため、小中学校等での出前講座や体験会を実施するとともに、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備する。

また、将来的に総合型スポーツクラブ等においても障がいのある方が日常的にスポーツに取り組めるよう、出前講座や必要な支援を行う。

さらに、協会広報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信・情報提供を行う。

- ① 【新】スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト
- ② 障がい者スポーツ地域連携促進事業
- ③ 協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究 30千円

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集を図ると共に、前例のない障がい等に対応する競技用具の研究開発等にあたる。

- ① 各種障がいスポーツに関する情報収集
- ② 障がい者スポーツ医科学委員会の開催

(7) その他の事業 1,414千円

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がい者が安心して参加できるよう、主催者に対し助言・支援を行う。

また、学校教育における障がい者スポーツ関連授業等に対し、講師の派遣を斡旋するなどの協力をを行い、障がい者スポーツ・福祉への理解を深める。

- ① チャレンジド・スポーツ支援事業

(8) 協会の運営 572千円

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図ることは、本県障がい者スポーツ活動推進の安定につながるものである。会員拡大、協賛企業の確保に努め、円滑な障がい者スポーツの振興を図る。

3 事業区分別事業計画

【公益事業】(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	予算額	350 千円
		前年度予算額	343 千円
目的	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p>事業概要 福祉団体等が開催する、スポーツ・レクリエーションを通じた社会参加、自立支援及び障がい者スポーツの振興に寄与する活動に要する費用の一部を（予算の範囲内で）助成する。</p> <p>事業実施主体（助成先） 県内に所在する障がい者スポーツに関する事業に取り組む団体。 （福祉団体、福祉施設・事業所、スポーツクラブ・サークル等）</p> <p>対象事業 （1）スポーツを通じた社会参加を目的に、教室や大会などのレクリエーション活動を実施するもの。 （2）当協会の各障がい者スポーツ大会支援事業等、他の助成事業と重複しないもの。</p> <p>助成額 事業実施主体に対し、事業数に関わらず1団体につき30,000円以内（※）を上限に助成する。（※）新規事業実施主体は50,000円以内</p>		
参考	<p>令和3年度実績</p> <p>県内障がい者競技団体、県内障がい者福祉団体等</p>		

事業名	②福島県障がい者スポーツ大会開催事業	予算額	6,919千円																																												
		前年度予算額	6,789千円																																												
目的	<p>障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がいのある方に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>今回大会より、大会名称をこれまでの「福島県障がい者総合体育大会」から改める他、新しい生活様式における大会運営の在り方（総合開会式の見直しなど）について検討していく。</p> <p>なお、本大会は、第22回全国障害者スポーツ大会個人競技の予選を兼ねるものとするが、全国大会派遣種目及び選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																														
内容	<p>大会概要</p> <p>期日：令和4年5月15日（日）及び22日（日）</p> <p>競技種目・会場は以下のとおり</p>																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">5月15日（日）</td> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>とうほうみんなのスタジアム</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あづま総合運動公園補助陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>福島市西部体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>福島県点字図書館</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市民プール</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>あづま総合運動体育館・サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>福島市福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ</td> </tr> <tr> <td>車いすバスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島市福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5月22日（日）</td> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>福島市十六沼公園サッカー場人工芝コート</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>福島市十六沼公園体育館</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立視覚支援学校</td> </tr> <tr> <td>ソフトボール競技</td> <td>知的</td> <td>福島市十六沼公園スポーツ広場</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>白龍山アーチェリーレンジ（※会津若松市）</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他：新型コロナウイルス対策を徹底して実施する。</p> <p>「第22回全国障害者スポーツ大会」選手選考会</p> <p>期日：令和4年6月第1週、福島市内において実施予定</p> <p>主催：福島県</p>			期日	競技種目	障がい種別	会場	5月15日（日）	陸上競技	身体・知的・精神	とうほうみんなのスタジアム	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま総合運動公園補助陸上競技場	卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市民プール	ボッチャ競技	身体	あづま総合運動体育館・サブアリーナ	バスケットボール競技	知的	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ	車いすバスケットボール競技	身体	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ	5月22日（日）	サッカー競技	知的	福島市十六沼公園サッカー場人工芝コート	バレーボール競技	身体・精神	福島市十六沼公園体育館	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校	ソフトボール競技	知的	福島市十六沼公園スポーツ広場	アーチェリー競技	身体
期日	競技種目	障がい種別	会場																																												
5月15日（日）	陸上競技	身体・知的・精神	とうほうみんなのスタジアム																																												
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	あづま総合運動公園補助陸上競技場																																												
	卓球競技	身体・知的・精神	福島市西部体育館																																												
	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館																																												
	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市民プール																																												
	ボッチャ競技	身体	あづま総合運動体育館・サブアリーナ																																												
	バスケットボール競技	知的	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・メインアリーナ																																												
	車いすバスケットボール競技	身体	福島市福島トヨタクラウンアリーナ・サブアリーナ																																												
5月22日（日）	サッカー競技	知的	福島市十六沼公園サッカー場人工芝コート																																												
	バレーボール競技	身体・精神	福島市十六沼公園体育館																																												
	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校																																												
	ソフトボール競技	知的	福島市十六沼公園スポーツ広場																																												
	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ（※会津若松市）																																												
参考	※令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。																																														

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	予算額	15,615千円
		前年度予算額	16,635千円
目的	福島県障がい者スポーツ大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣する。また、同予選会を優勝した団体競技を全国障害者スポーツ大会に派遣する。		
内容	<p>派遣期間：令和4年10月27日（木）結団式 28日（金）公式練習 29日（土）開会式 30日（日）2日目 31日（月）閉会式 11月1日（火）帰県（解団式）</p> <p>開催場所：栃木県</p> <p>派遣人数：選手64名（予定）、役員37名（予定）</p> <p>大会規模：参加選手約3,500名（想定）、役員約2,000名</p> <p>実施競技：</p> <p>○個人競技：7競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知・精）、（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知）、ボウリング（知）、ボッチャ（身）</p> <p>○団体競技：7競技 バスケットボール（知）、車いすバスケットボール（身）、ソフトボール（知）、グランドソフトボール（身）、バレーボール（身・知・精）、サッカー（知）、フットベースボール（知）</p> <p>○オープン競技：3競技 卓球バレー（身・知・精）、車椅子ダンス（身）、スポーツウエルネス吹矢（身）</p>		
参考	※第20回（令和2年度）、第21回（令和3年度）大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。		

【公益事業】（２）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導員養成講習会開催事業	予算額	460 千円
		前年度予算額	460 千円
目的	障がい者スポーツ指導員を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。		
内容	<p>福島県障がい者スポーツ指導員養成講習会</p> <p>障がいの基本内容を理解し、障がい者のスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身に付け、健康や安全管理を重視した指導ができる指導員を育成する。</p> <p>講習会概要</p> <p>○共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会（予定）</p> <p>○後援：（公財）福島県スポーツ協会、（公財）日本パラスポーツ協会</p> <p>○募集対象：本県に住所を置く、事業実施年４月１日時点において満１８歳以上で、障がい者スポーツに理解と熱意を有し、資格取得後は障がい者スポーツ指導員として活動できる方。</p> <p>○実施日：調整中（延べ３日間予定）</p> <p>○会場：調整中（郡山市予定）</p> <p>○募集人員：４０名程度</p> <p>○募集期間：調整中</p> <p>※初級障がい者スポーツ指導員：地域で活躍する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。</p>		
参考			

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	予算額	351 千円
		前年度予算額	351 千円
目的	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導員を派遣し、専門指導の知識を高め、指導員に対する指導ができる指導員及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導員を養成する。		
内容	<p>事業概要 指導員が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行う。</p> <p>※想定講習会等</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 中級障がい者スポーツ指導員養成 (2) 障がい者スポーツトレーナー養成 (3) 障がい者スポーツトレーナー技術講習会 (4) 障がい者スポーツ医養成 (5) 全国障害者スポーツ大会、専門競技クラス分委員養成 		
参考			

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会 運営事業	予算額	300 千円
		前年度予算額	300 千円
目的	専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援する。		
内容	事業概要 (1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会 (2) 役員会の開催 2か月に一度、役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施 (3) 各部会（各部運営委員会）の開催 3か月に一度、各部会の開催		
参考	自主事業		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	予算額	30 千円
		前年度予算額	50 千円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者スポーツの各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図る。</p>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8 年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8 年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9 年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成 12 年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成 16 年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成 21 年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成 23 年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成 25 年：水泳選手育成支援 平成 27 年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成 平成 28 年：パラバドミントン選手支援 平成 30 年：ボッチャ選手育成支援 令和元～3 年：ウィルチェアーラグビー選手強化練習支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	予算額	1,320千円
		前年度予算額	1,320千円
目的	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
内容	<p>事業概要</p> <p>福島県代表団体競技チームが、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等に出場する場合等に必要な経費を支援する。</p> <p>○想定団体競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール（知的） ・車いすバスケットボール（身体） ・グランドソフトボール（視覚） ・バレーボール（聴覚、精神） ・サッカー（知的） 		
参考			

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	予算額	350 千円
		前年度予算額	900 千円
目的	パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈するとともに、全国大会等に出場する選手・役員に対して経費の一部を助成し、財政的支援を行う。		
内容	<p>事業概要</p> <p>① 国際大会等出場助成事業 国際大会に出場する選手に対して、激励金として下記内容を支給する。</p> <p>（１）競技種目ごとに開催されるアジア大会、国内で開催されるIPC公認の国際大会等において、日本代表として出場する本県出身の選手に対して5万円以内。 ※激励金の額については、その都度調整。</p> <p>（２）パラリンピック、デフリンピックなど日本パラリンピック委員会より派遣される本県出身の選手に対して5万円以内。 ※激励金の額については、その都度調整。</p> <p>② 全国スポーツ競技会等出場助成事業 各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手（団体競技含む）、役員に対し、経費の一部を助成する。ただし、上限は10万円以内。 ※令和4年度は、全国大会3,000円／人、東北大会2,000円／人を予定</p>		
参考	自主事業		

事業名	②運動導入教室開催事業	予算額	1,785 千円
		前年度予算額	1,626 千円
目的	障がいのある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動等を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。 県北会場：福島市（毎週 1 回開催予定） 県中会場：郡山市（隔週 1 回開催予定） いわき会場：いわき市（隔週 1 回開催予定）</p> <p>②障がい児などに対し、遊びの中で、楽しく運動をしながら車椅子の操作や、障がい程度に合わせた身体の動かし方を会得していく。</p> <p>③中途障がい（成人になってから障がいを負った方とその家族・介助者）に対し、車椅子操作、義足での歩行、片麻痺の運動指導等の各障がい現況に合わせた指導を行う。</p> <p>④各個人の身体・障がいに合わせた内容のスポーツ教室（種目別教室）への参加を促す。</p> <p>⑤運動能力が高い方については、さまざまなスポーツ経験をした後に、自らが望む専門競技団体への参加を支援する。</p> <p>⑥自治体、教育機関、医療関係団体と連携し、運動導入指導に関わる人材育成を図る。</p>		
参考			

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	予算額	1,010 千円
		前年度予算額	1,004 千円
目的	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	事業概要 福島県障がい者スポーツ指導者協議会の各6支部が主催する地域スポーツ教室・大会開催・講習会の開催を支援する。		
参考			

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	予算額	1,955 千円
		前年度予算額	2,629 千円
目的	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組む。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①障がいのある方が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を開催する。</p> <p>②障がいのある方が各スポーツ競技団体と交流することで、競技への参加を促進する。選手は、各種大会への出場など、それぞれの目標に向かい、生きがいをもつことが期待できる。</p> <p>○実施予定競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上 ・フライングディスク ・卓球 ・サウンドテーブルテニス ・アーチェリー ・サッカー ・バスケットボール ・車いすバスケットボール ・水泳 ・グランドソフトボール ・ボッチャ ・その他（パラサイクリングやスキーなど、希望等に応じて実施） 		
参考			

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	予算額	715 千円
		前年度予算額	495 千円
目的	<p>県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要 県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成する。</p> <p>○想定競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上 ・フライングディスク ・バスケットボール（知的） ・ボッチャ ・サッカー ・シッティングバレーボール ・車いすバスケットボール ・卓球 ・スキー ・聴覚障がい者スポーツ競技（県ろうあ者スポーツ大会） 		
参考			

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	予算額	2,244 千円
		前年度予算額	1,694 千円
目的	<p>今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援する。</p> <p>○指定予定者：20名</p>		
参考			

事業名	⑦【新】ふくしまシャイニングスタープロジェクト	予算額	449 千円
		前年度予算額	0 千円
目的	本格的なスポーツ活動には至っていない障がいのある方へアプローチし、競技体験を合わせた基礎的な運動能力等の測定会を開催することで、潜在的な能力を持つアスリートを発掘するとともに、障がい特性や興味・関心に応じた競技への参画を促す。		
内容	<p>事業概要</p> <p>○実施日：調整中（1日間予定）</p> <p>○会場：調整中</p> <p>○募集人員：30名程度</p> <p>…福島県障がい者スポーツ大会の参加者ほか、特別支援学校、福祉事業所等に広く周知し、参加を募る。</p> <p>○内容：運動能力等の測定会、各競技団体や指導者による相談会、各教室の紹介 など</p> <p>○その他：特に能力が高く、競技力の向上を目指す方には、J-STAR プロジェクト※へのエントリーを促すなど、個々人の能力に応じた支援を行う。</p>		
参考	<p>※J-STAR プロジェクト（ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト）</p> <p>…スポーツ庁、(独)日本スポーツ振興センター、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本パラスポーツ協会、日本パラリンピック委員会が、中央競技団体と連携し、オリンピックやパラリンピックなど世界レベルの競技大会で輝く未来のトップアスリートを発掘するプロジェクト。</p>		

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①【新】スポーツからはじめる共生社会 実現プロジェクト	予算額	14,795千円
		前年度予算額	0千円
目的	<p>スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒に障がい者スポーツに親しみ、理解を深めてもらうことが重要であるため、出前講座や体験会を実施するとともに、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備する。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <p>1. 魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・公民館・福祉事業所・地元企業等において、出前講座や体験教室等を実施 ・障がいのない方にも広く知ってもらうことを目的に、既存のイベント等へ出展し、パラアスリートによるデモンストレーションや体験イベント等を実施 <p>2. 環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した支援者を育成する研修会を実施 (学生ボランティアやスポーツ少年団の指導者などを対象とし、将来的には、初級指導員の資格取得を働き掛ける。) ・ポッチャやスポーツ用車いすなどのスポーツ用具の貸出事業を実施 <p>以上を実施するため、特任コーディネーター、スペシャル講師、特別アドバイザーを委嘱し、様々な専門家に各方面で協力をいただく予定。</p>		
参考			

事業名	②障がい者スポーツ地域連携促進事業	予算額	297 千円
		前年度予算額	309 千円
目的	将来的に総合型スポーツクラブ等においても障がいのある方が日常的にスポーツに取り組めるよう、出前講座や必要な支援を行う。		
内容	<p>事業概要</p> <p>○内容 障がい者スポーツ（ボッチャ競技等）の出前講座及び助言等</p> <p>○対象 総合型スポーツクラブ、学習センターほか</p>		
参考			

事業名	②協会広報誌の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	予算額	130 千円
		前年度予算額	130 千円
目的	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報誌を発行するほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する各種情報の提供を行う。		
内容	事業概要 広報誌の発行等 年1回広報紙を発行する。1回2,000部発行		
参考	自主事業		

【公益事業】（６）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	予算額	30 千円
		前年度予算額	100 千円
目的	各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、講習会等に参加し、最新の情報の入手を図る。 ・日本障がい者スポーツ協議会（三協議会） ・東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会 ・その他必要な会議等 <p>②障がい者スポーツ医科学委員会の開催</p> <p>障がい者スポーツ医等による専門委員会を開催し、障がい者スポーツの医科学サポートの充実を図る。</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】（7）その他の事業

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	予算額	1,414 千円
		前年度予算額	1,768 千円
目的	企業が、東日本大震災復興支援を目的として実施する事業に協力するほか、奨励金（補助金）を活用した事業を展開する。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>（1）サントリーチャレンジド・アスリート奨励金を活用した事業の実施 ※令和元年度に2,000千円受領したが、新型コロナウイルス感染症の影響等により事業が実施できなかったもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度：障がい児・者スポーツ指導ガイドラインの作成（232千円） ・令和3年度：障がい児・者運動導入講習会の開催、 福島ファイヤーボンズの試合観戦企画他（354千円） <p>令和4年度も、県内の障がい者スポーツの振興に寄与する活動等について、適宜計画しながら実施していく。</p> <p>例：障がいのある方による地元プロスポーツの試合観戦企画等</p> <p>（2）サントリーグループが開催する各事業への協力</p> <p>ア チャレンジド・アスリートビジット等（学校訪問活動）開催協力 障がい者、児童・生徒らと障がい者スポーツの体験をとおり、障がいに対し理解を深めながら体験を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボール体験ほか <p>イ チャレンジド・スポーツ育成サポート事業開催協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジド・スポーツ教室の開催 ・障がい児の体育授業実施の講習会及びワークショップ 		
参考	<p>※東北サンさんプロジェクト</p> <p>サントリーグループが、「漁業支援」「子ども支援」「チャレンジド・スポーツ支援」「文化・芸術・スポーツ支援」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野での支援を受けている。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	予算額	572 千円
		前年度予算額	680 千円
目的	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料。法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p>事業概要</p> <p>①会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 理事会 <ul style="list-style-type: none"> ア 第1回理事会（令和4年5月予定） 令和3年度事業報告・収支決算について他 イ 第2回理事会（令和5年3月予定） 令和5年度事業計画・収支予算について他 ● 評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ア 第1回評議員会（令和4年6月予定） 令和3年度事業報告・収支決算について他 イ 第2回評議員会（令和5年3月予定） 令和5年度事業計画・収支予算について他 ● 定期監査（令和4年5月予定） 令和3年度事業実績・収支決算について <p>②行政財産に係る管理経費 事務所貸借12ヶ月分（3.3㎡×人数分、高熱水費）</p> <p>③財務・経理関係管理経費 財務状況管理システム経費、税理士経費</p> <p>④その他 需用費（消耗品等）、役務費（通信費等）、旅費等</p>		
参考			